

協力・支援

移動図書館「あづま号」

図書館未設置町村の図書館活動の促進を図ることを目的として、資料の援助や公民館図書室の運営相談を行っています。

また、地区別に「図書室運営研修」を行い職員の資質向上を図っています。

本年度の巡回は次のとおりです。



平成17年度あづま号巡回日程

コース名	前期日程	後期日程	対象町村
県中	7月12日・13日	12月7日・8日	玉川・石川・古殿・平田
県南	6月14日	11月22日	中島・泉崎
県南	6月21・22日	11月29・30日	鮫川・矢祭・西郷
会津	4月26日・27日	10月12日・13日	猪苗代・磐梯・河東・塩川・湯川
会津	5月10日・11日	9月27日・28日	会津坂下・新鶴・会津本郷・会津高田
会津	5月24日・25日	11月8日・9日	北塩原・西会津・高郷・山都
会津	6月7日・8日	11月15日・16日	柳津・三島・金山
南会津	5月17～19日	10月18～20日	只見・南郷・伊南・檜枝岐・館岩
相双	4月12日	9月20日	飯館・鹿島
相双	4月19日・20日	10月4日・5日	葛尾・川内・楢葉・広野

県北地区は、県立図書館で選書を実施します。

平成17年度図書室運営研修日程

開催地区	開催場所	開催日	開催時間
県北地区	こむこむ(子どもの夢を育む施設)	9月15日	13:00～15:00
県中地区	須賀川市岩瀬図書館	7月5日	13:00～15:00
県南地区	埴町図書館	11月30日	13:00～15:00
会津地区	会津若松市立会津図書館	6月8日	13:00～15:00
南会津地区	田島町図書館	5月17日	13:00～15:00
相双・いわき地区	富岡町図書館	10月5日	13:00～15:00

子ども読書活動地区別研修会

健やかな子どもの心の成長を願って、それらの活動の拠点となる図書館・公民館・学校図書館等における児童サービス充実のための研修会を地区別に開催します。

平成17年度子ども読書活動地区別研修会日程 テーマ「蔵書を考える」

開催地区	開催場所	開催日	開催時間
県中地区	須賀川市図書館	12月6日	13:00～15:00
県南地区	東村図書館	6月22日	13:00～15:00
南会津地区	田島町図書館	10月18日	13:00～15:00

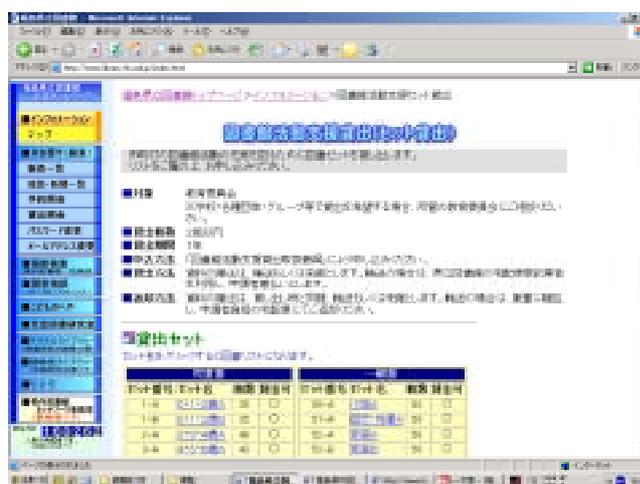
図書館活動支援貸出

県内市町村立図書館・公民館等の読書施設に、図書館活動の充実を図るため、求めに応じて3,000冊以内の図書を1カ年貸し出し、協力援助を行います。

貸出を希望する教育委員会は、県立図書館にて協力用図書から選書します。貸出後の図書は、図書館や公民館のほか、学校、幼稚園・保育所、文庫等で活用されています。

今年度からは、図書セットの貸出も始めました。ホームページで図書リストを確認の上、支援貸出の手続きでお申し込みいただけます。図書セットは、利用者負担で宅配もできます。

また、16年度に引き続き、学校図書館支援貸出モデル事業を実施しています。17年度モデル校は、以下のとおりです。



<セット貸出案内ページ>

平成17年度学校図書館支援貸出モデル校

福島県立川俣高等学校	福島県立小名浜高等学校
福島県立安達東高等学校	福島県立四倉高等学校
福島県立葵高等学校	



平成16年度学校図書館支援貸出モデル校実績

福島県立葵高等学校	福島県立四倉高等学校
貸出冊数 500冊	貸出冊数 500冊
	

図書館資料の譲与

県内市町村教育委員会を対象として、受入から10年を経た協力用資料を譲与します。譲与資料は、図書館・公民館図書室の蔵書の強化・充実のためや、学校図書館の蔵書不足を補うため、読書ボランティア活動の一助として、活用されています。

協力事業

(1) 協力車の運行

県内の市町村立図書館及び建設準備館を巡回し、情報の収集・提供や運営に関する相談事務を行うとともに、資料の相互貸借を行います。



(2) 協力事業連絡会議

県内公立図書館職員が会し、ネットワークの確立と機能強化の方策について具体的な検討を行います。

平成17年度は全県的な図書館のサービス網の充実を図ることを目的として、資料提供の相互協力などについて今後の図書館業務の方向を協議しました。

- ・議 題 資料提供の相互協力について
- ・情報交換 個人情報保護について
- 委託について
- 協力車の活用について

・期 日 平成17年7月1日(金)

・会 場 福島県立図書館

・参加者 県内公立図書館 20館

平成17年度協力車巡回

コース	巡回館	巡回数	巡回時間
1	会津 喜多方-会津	8	13:00-13:40/14:20-15:00
2	南会津 田島(あづま号巡回時に2回巡回)	4	13:00-14:00
3	県北1 二本松-岩代-白沢	8	10:50-11:30/13:00-13:40/14:00-14:40
4	県北2 伊達-福島	8	14:00-14:40/15:00-15:40
5	県中1 須賀川-須賀川(長沼)-須賀川(岩瀬)	8	11:00-11:40/13:30-14:10/14:30-15:10
6	県中2 鏡石-郡山	6	11:20-12:00/13:40-14:20
7	県中3 小野-田村-三春	8	11:00-11:40/13:00-14:00/14:20-15:00
8	県南1 大信-白河-東	6	11:20-12:00/13:20-14:00/14:40-15:20
9	県南2 埴-棚倉-矢吹	6	11:20-12:00/13:20-14:00/14:30-15:10
10	県南3 白河-矢吹	2	11:20-12:00/13:30-14:10
11	相馬 新地-相馬-原町	6	11:00-11:40/13:00-13:40/14:30-15:10
12	双葉 浪江-双葉-大熊	6	11:20-12:00/13:20-14:00/14:20-15:00
13	いわき 富岡-いわき	6	11:00-12:00/14:00-14:40
14	相双 原町-富岡	2	11:00-11:40/13:30-14:30
	平成17年度 14コース	84	
	平成16年度実績 10コース	69	



県立図書館司書による 一押し本!



『日曜日たち』

吉田 修一 / 著 講談社 2003
913.6/㊦ 038

5人の男女のある日曜日を綴った連作集です。吉田修一は、都会で暮らす若者の何気ない日常を描くのが非常に上手な作家ですが、この作品はその持ち味が特に良く出ています。一見平凡に見える生活の中にも、それぞれ悩みや不安があり、何とか折り合いをつけながら生きていく、その姿に共感を覚えます。波瀾万丈な人生を描いた小説とはひと味違う、ある意味地味な作品ですが、静かに心に残る一冊です。

(資料情報サービス部 小林 純子)

『希望格差社会』

山田 昌弘 / 著 筑摩書房 2004
360/㊦ 04Y

「パラサイト・シングル」という言葉を生み出した著者が、現在の閉塞状況について、将来に希望もてる人と、将来に絶望した人に分裂した「希望格差社会」である、と看破しています。

ニューエコノミーの進展により、リスク化と二極化が増進し、「一億総中流」社会から「勝ち組」「負け組」社会に変質しました。佐藤俊樹氏は『不平等社会日本』で、ジニ係数(不平等度)の上昇で階層化が強まっていると指摘していますが、その影響を最も受けている層が若者である、と著者はいいます。

刹那的な生き方をする若者が増えているのは、若者の意識の問題だけではないことを考えさせられます。

(企画管理部 泉 浩)